

ビーチサッカーで 恋人の聖地をPR

一の宮海岸・サマーフェス



熱戦を展開するビーチサッカー大会の出場選手—観音寺市豊浜町、一の宮海岸

恋人の聖地として売り出す観音寺市豊浜町の一の宮海岸で27日、一の宮サマーフェス（同実行委主催）が開かれた。恒例のビーチサッカー大会や、ビーチサンダルを飛ばして距離を競う「愛と感謝のビーサンキック」など盛りだくさんのイベントがあり、海水浴客らを楽しませた。

一の宮海岸の整備完了に合わせて、恋人の聖地を盛り上げようと、大豊商工会青年部が中心となり、前身の豊浜町商工会時代の2000年から、毎年この時期に開いている。

風が強く、時折大粒の雨

が降る天候だったものの、ビーチサッカー大会に出場する選手やスタッフら約200人が、海岸のごみを一齐に拾い集めるクリーン作戦を実施し開幕。その後、一般の部22チーム、子どもの部7チームに分かれ、熱戦を繰り広げた。

一の宮ドリームタワーの前では、ビーサンキックがあり、参加者が感謝の言葉を叫びながら、足を思い切り振り上げ、ビーチサンダルを飛ばし合った。全米選手権などに参戦するエクストリームライダーの木下真輔さんによるバイクショーもにぎわった。